

(別紙)

## ●事業の実施状況

### 1 UCI※1公認レース「マイナビ ツール・ド・九州2023」の開催

開催県に設置されたステージ事務局および市町村、スタート・フィニッシュ各施設、各県警察、JCF※2等関係機関と連携し、初回大会を開催いたしました。

※1 UCI：国際自転車競技連合 ※2 JCF：公益財団法人日本自転車競技連盟

#### (1) 開催日程

日程	ステージ	コース
10月6日(金)	小倉城クリテリウム	小倉城周辺
10月7日(土)	ステージ1 福岡	北九州市 →大牟田市
10月8日(日)	ステージ2 熊本阿蘇	南小国町 →南阿蘇村
10月9日(月・祝)	ステージ3 大分	日田市

#### (2) 参加チーム

ツール・ド・フランス総合優勝の実績を持つアスタナ・カザクスタンチームを含め、下記の18チーム(8か国)から選手104名(17国籍)が参加しました。

	チーム名	国名
UCIワールドチーム	アスタナ・カザクスタンチーム	カザフスタン
UCIプロチーム	ボルトンエキイティース・ ブラックスポーク	ニュージーランド
UCIコンチネンタル チーム	愛三工業レーシングチーム	日本
	ARAスキップ・キャピタル	オーストラリア
	EFエデュケーション・NIPPON ディベロップメントチーム	アメリカ
	ゴー・フォー・ゴールド・フィリピン	フィリピン
	JCL TEAM UKYO	日本
	キナンレーシングチーム	日本
	マトリックスパワータグ	日本
	ルージャイ・オンライン・インシュラ ンス	タイ
	シマノレーシング	日本
	スパークルおおいたレーシングチーム	日本

セントジョージ・コンチネンタル・サイクリングチーム	オーストラリア
チームブリヂストンサイクリング	日本
トレンガヌ・ポリゴン・サイクリングチーム	マレーシア
宇都宮ブリッツェン	日本
V C FUKUOKA	日本
ヴィクトワール広島	日本

### (3) 安全を確保した大会運営

#### ①コース整備

大会前に福岡県、熊本県コースの複数個所にて豪雨被害が発生しましたが、自治体の道路管理者、事務局との連携により復旧させ、大会に至りました。

また福岡ステージの山岳賞ポイントであるオレンジロードは、鬱蒼とした竹林に覆われており、地元のサイクリストのボランティアが集まり、地域一帯での清掃、コース整備を行いました。

#### ②セーフティマーシャルの募集

コース周辺での交通整理や誘導、案内などを行うセーフティマーシャルを募集し、のべ3,000人を超える応募を集めました。

#### ③エスコートモトの導入

ロードレース、また長距離をカバーするラインレースでは、路上の全ての懸案箇所にはセーフティマーシャルを配置することは困難であります。また高速で展開していくレースの中では、機動力が重要となりました。そのため、オートバイ車両で構成されるエスコートモト隊をレースコースに走らせ、安全管理を担当しました。

国内のレースでは類を見ない規模の20台体制を敷き、道路利用者への注意喚起や選手への危険箇所の通達、コースへ侵入した車両への対応を行いました。

#### ④「コース内への侵入を防ぐ方策」を発表

令和5年9月、大会の安全対策を発表しました。